

受けてください 特定健診・特定保健指導

問 国保年金課国保係 ☎(95)9891
保健センター ☎(48)3751

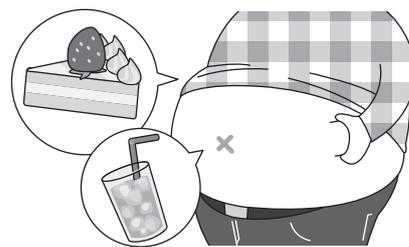
国民健康保険に加入している皆さんへ

市国民健康保険加入者の医療費を集計すると、糖尿病にかかる医療費が最も高いという結果が出ています。

■ 平成29年度 年間の医療費が高い疾患

1位	糖尿病	266,790,655円/年
2位	がん	257,169,691円/年
3位	高血圧性疾患	249,003,280円/年

(第2期データヘルス計画より抜粋)



市国民健康保険加入者の糖尿病有病率は26.2%で4人に1人が糖尿病です。糖尿病患者1人当たりの医療費は県内38市のなかで1番高くなっています(あいち国保健康レポートより)。

糖尿病は放置すると全身の血管が傷つき、さまざまな合併症を引き起こす怖い病気です。初期は自覚症状がないため、予防のためには健診をしっかり受けて自分の血糖値を知り、日常的な血統コントロールが重要となります。

市国民健康保険では特定健康診査(特定健診)・特定保健指導を無料で行っています。期限内に忘れずに受診してください。

特定健診・保健指導の流れ

40歳以上の国民健康保険の加入者および後期高齢者医療保険の加入者に対し、特定健診の受診券を送付します。

① 5月30日(土)までに受診券が届く



② 受診券、健康保険証、健康手帳を持参して指定医療機関(7ページ参照)で受診



③ 後日、受診した医療機関で説明・情報提供



国保加入者には、健診結果に応じて3段階の生活習慣の改善に重点をおいた特定保健指導を実施します。

危険度「低」の人

今後も健康を維持できるように情報提供を行います。

危険度「中」の人

メタボリックシンドロームのリスクが出始めた人を対象に、原則1回の面接による支援を行います。

危険度「高」の人

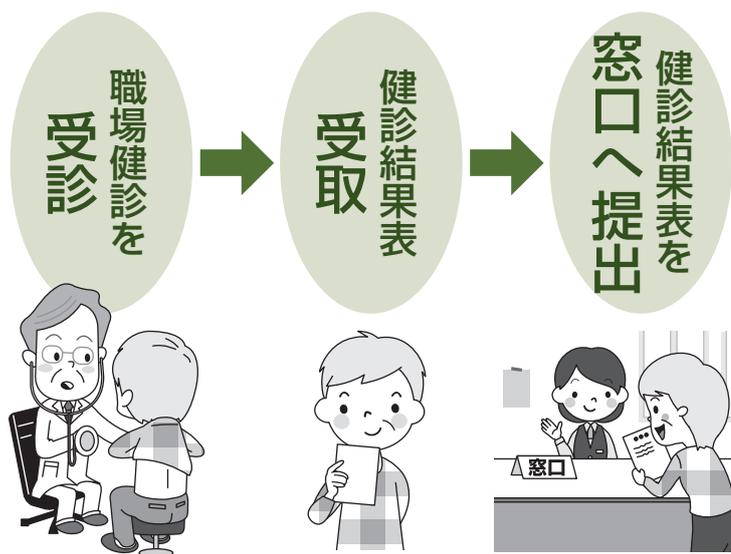
メタボリックシンドロームのリスクが重なっている人を対象に、継続的に支援を行います。

職場健診の結果表を 提出してください

40～74歳の市国民健康保険加入者で職場健診（事業主健診）の対象となる人は、職場健診が優先されますので、特定健診を改めて受ける必要はありません。

職場健診の健診内容には、特定健診の検査項目が含まれており、健診結果表を市に提出することで特定健診を受けたことに代えられます。

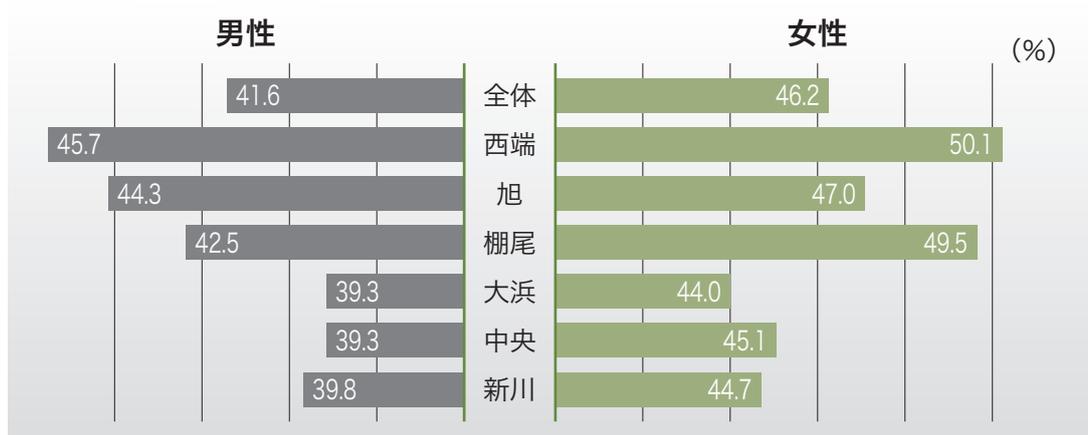
しかし、市では職場健診を受けていることがわからないため、特定健診の受診勧奨が届く場合があります。職場健診の結果が出たら、健診結果表を国保年金課または保健センターへお持ちください。



平成30年度の市国保加入者の特定健診受診率は44%です。第3期特定健康診査等実施計画では令和5年度までに受診率60%を目標値に掲げています。国保データベースシステムにより地区別の受診率を分析したところ、西端地区が最も高く、大浜地区が最も低い結果となりました。

職場健診のデータをご提出いただきますと、特定健診を受診したことになり、保健師による保健指導を受けることもできますのでぜひご提出ください。

地区別特定健康診査受診率



男女ともに西端地区の受診率が高いです



脳ドック検診（前期）は中止します

問 保健センター ☎(48)3751

7月～9月に予定していた脳ドック検診（前期）は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止します。なお、10月～12月に予定している脳ドック（中期）と、令和3年1月～3月に予定している脳ドック（後期）は、実施する予定ですが、中止する場合があります。詳しくは、市ホームページで確認するか保健センターへお問い合わせください。